

# 令和4年度 在宅医療に関連する研修会レポート

令和4年12月9日

作成者：事務局 小林

## 1. 研修会開催日時・場所

日時：令和4年11月27日（日）13：00～16：30

場所：福祉保健研修交流センターウィリング横浜（港南区・上大岡）

## 2. 研修会概要

褥瘡を中心とし、「褥瘡に対応する衛生材料・福祉用具・介護用品」についての講演ならびに体験。

## 3. 講演について

### 【講演Ⅰ】「福祉用具と薬局の係わり方」

#### I-1 『薬局と福祉用具について』

##### ～講演内容～

- ・福祉用具貸与事業所の業務内容
- ・薬局と福祉用具貸与事業所との連携
- ・褥瘡に関する福祉用具の学習意義
- ・講演Ⅲで体験をしていただきたい項目



本研修会導入の講演

##### ～講演内容のポイント～

この講演は一般社団法人ヒューメディカうしおだ福祉サービス福祉用具専門相談員の川口様にご講演をいただきました。福祉用具貸与事業所の業務内容を踏まえた上で、排泄を例に薬局との連携についてご説明をいただきました。

また講演I-2からのメインテーマである「褥瘡」に関する福祉用具の学習意義と講演Ⅲに際してのポイント説明などを含めて研修会導入として15分でまとめていただきました。

#### I-2 『褥瘡予防のための福祉用具活用方法～体圧分散マットレスと車椅子クッション～』

##### ～講演内容～

- ・褥瘡と福祉用具の係わり方
- ・圧迫、ずれ、蒸れを軽減する福祉用具の活用方法
- ・介護ベッド使用時の体圧分散の可視化実演



スライド資料による車椅子着座時の体圧分散データの説明

## ～講演内容のポイント～

この講演はパラマウントベッド株式会社また日本褥瘡学会褥瘡予防用具推進委員会委員の土屋様にご講演をいただきました。この講演では、褥瘡は福祉用具の選び方と使い方で解決可能ということを学ぶものでした。今回は介護ベッドに体圧センサーを用いて、体圧分散の可視化実演をしながらの講演だったため、リアルな体圧分散の動きが分かる講演でした。

マットレスのタイプに応じた体圧分散、水平状態から背上げした際の体圧分散をモニターしながら、使用環境や状況に応じた福祉用具の選択・使用方法についてご説明をいただきました。

介護ベッドの使用について背上げ機能だけではなく、膝上げ機能を上手に組み合わせることで、より楽な起き上がりを可能にするといった、実践的なお話もありました。このように介護・被介護者の立場での説明と実演でしたので、受講者も大変理解しやすいご講演でした。



体圧センサーを用いた、介護ベッド使用時の体圧分散可視化の実演

## 【講演Ⅱ】「褥瘡を中心とした衛生材料」

### 『薬剤師が知っておきたい！在宅における褥瘡治療について（体験含む）』

## ～講演内容～

- ・ 軟膏の選択基準
- ・ 保険適用にならない製品 衛生材料・保険医療材料
- ・ 保険適用になる製品 褥瘡モデルを使ったワークショップ
- ・ 在宅での保険制度のご案内

## ～講演内容のポイント～

この講演はスミス・アンド・ネフュー株式会社の橋本様にご講演をいただきました。

この講演では褥瘡治療にあたり褥瘡の状態から、使用する衛生材料の選択基準や衛生材料・医療材料の保険適用可否について学ぶものでした。さらに当研修会の目玉の一つとして、褥瘡モデルを使用したワークショップを行っていただきました。

グループテーブルに1体ずつ褥瘡モデルを用意し、受講者同士協力しながら4種類の創傷被覆材を貼付していただきました。褥瘡の状態や大きさによって、

使用する製品の違いや、製品による貼り方・剥がし方の違いなどを確認しながら、積極的に講師やワークショップのアシスタントに質問をするなど、真剣に取り組まれておりました。

貼り方のポイントはなるべく皺が無いようにして貼付することだそうです。



保湿ローションのお試し（ベタツキ、香り、のび等）



褥瘡モデルへの創傷  
被覆材の使用体験



### 【講演Ⅲ】「車椅子・介護ベッドの使用方法と使用体験」

#### ～講演内容～

- ・介護ベッド：マットレスと床ずれ防止用具との違いと座位について  
床ずれ防止用具にて、寝姿勢における体圧分散機能について
- ・車椅子：2種類の車椅子を通じた、長時間座位姿勢を取る際の違いについて  
クッション通じて、座位における体圧分散の体験

#### ～講演内容のポイント～

この講演では講演Ⅰ－1と2を対応いただいた2名とそれぞれのアシスタントでご講演をいただきました。基本的には車椅子と介護ベッドのグループに分かれて、説明や体験を行っていただきました。

介護ベッドについては、受講者自身でベッドを作動させる際の体圧やマットレスの違いを感じていただきました。**膝上げ機能を使用しない場合と使用した場合の負担は、思った以上に感じる**とのことでした。講演Ⅰ－2の体圧可視化実演で学んだことを体験することでより理解の定着が図られました。また実例として、**膝上げ機能を上手に利用したことで、被介護者の食欲が増進したということもあった**そうです。

車椅子については、2種類の車椅子を通じた長時間座位姿勢を取る際の違いや、専用クッションを用いて適正な座位での体圧分散を感じていただきました。また車椅子によっては広げ方を間違えると指を挟む等の思わぬケガをする場合があるといったアドバイスもございました。



介護ベッドと車椅子の使用体験と使用方法の説明

#### 4. まとめ

コロナ禍でありましたが、グループの間隔を広く取り、各テーブルにアルコールシートを設置する等の感染対策を講じた上で、集合型研修で開催させていただきました。

今回は座学だけでなく各メーカー様にご協力をいただき、実演や体験（使用方法の説明含む）といった体感型の研修会として実施いたしました。

受講いただきました先生方の感想は、「福祉用具、衛生材料に実際に触れたことで、理解しやすかった」、「初めて福祉用具、衛生材料に触れることができ、良い機会でした」などが寄せられ、実演や体験型研修会は受講者に対して良い刺激になるのだと改めて感じました。

一方、スケジュールの都合上、別の横浜市薬剤師会主催の研修会と同日開催となってしまったので、スケジュールには出来得る限りの配慮をした上で、今後の研修会準備をいたします。

医療・介護保険委員会では今後も様々な研修会を開催できればと考えておりますので、ぜひご参加をいただきましたら幸いです。